

高校生 I C T 2022 Conference

in 大阪

～テーマ～

デジタル社会における学び方と学びの場

ーオンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催報告書

2022年9月18日(日)12:30-17:00

【会場】：オンライン

主催

高校生 I C Tカンファレンス実行委員会

(構成団体)

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省

2022年11月17日

目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference 2022 地域開催.....	4
3. 高校生 ICT Conference 2022in 大阪 開催概要.....	4
4. 主担当.....	8
5. 高校生 ICT Conference 2022 サミット.....	9
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	9
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応.....	9

1. 開催概要

名称：	高校生 ICT Conference 2022 テーマ： デジタル社会における学び方と学びの場 ーオンライン環境で「出来ること」「すべきこと」
主催：	高校生 ICTカンファレンス実行委員会 (構成団体) ● 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催：	内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省
後援：	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構
協賛：	グーグル合同会社、株式会社ラック、日本マイクロソフト株式会社、株式会社メディア開発総研、株式会社ディー・エヌ・エー、Bytedance 株式会社、グリー株式会社、アルプス システム インテグレーション株式会社、エースチャイルド株式会社、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、株式会社サイバーフェリックス
協力：	株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイットジャパン株式会社
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICTプロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加、その後順次規模を拡大し、2020 年度には、全国 15 拠点にて開催し、計 86 校 360 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>【本年開催テーマのコンセプト】 2019 年 12 月に感染が始まった新型コロナにより、それ以前の日常は激変し、人と人が直接接する機会をなるべく減らす新しいコミュニケーションの時代に入っています。学校においては同年代が集まり語り合い、切磋琢磨するこれまでの姿は無</p>

	<p>くなり、分散登校やオンライン授業の導入、マスクの常時着用や部活動の制限による社会的距離の確保を前提とする学校生活に変わりました。中でも、高校生に大きな影響を及ぼしているのがオンライン授業の広範囲な導入です。</p> <p>コロナの完全終結は未だですが、ワクチン接種や治療薬の開発が進み、少しずつ新たな生活スタイルの模索が始まっています。これから始まる新しい生活スタイルはどうか、新型コロナにより待たなしで始まった現在のデジタル社会はどうか、オンラインをテーマに問題点や課題を洗い出し、新たなデジタル社会への希望とこれまでとは違うライフスタイルへの期待を明らかにする。</p> <p>※平成21年4月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成23年度の小学校を皮切りに、平成24年は中学校、平成25年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しいICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全にICTを利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取り組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地 募集人員等：	<p>募集参加生徒 30名（各開催地により変動あり） 募集見学者各回 30名（各開催地により変動あり）</p>
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT研究会理事・消費者団体訴訟室長） ・ 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） ・ 小城 英子（聖心女子大学） ・ 他、関係者団体、事業者等

	<p>【事務局】 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 〒104-0041 東京都中央区新富二丁目4番5号 ニュー新富ビル4階 TEL: 03-6280-4901</p>
--	--

2. 高校生 ICT Conference 2022 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

開催地	開催日時	会場
北海道	10月2日	オンライン
茨城	8月23日	茨城県立石岡第一高等学校
東京	9月19日	情報セキュリティ大学院大学東京オフィス
新潟	8月18日	オンライン
石川	10月2日	金沢勤労者プラザ
長野	10月15日	オンライン
静岡	9月11日	専門学校 静岡電子情報カレッジ
大阪	9月18日	オンライン
奈良	10月9日	帝塚山大学
高知	8月16日	オンライン
福岡	9月23日	福岡県中小企業振興センター
長崎	8月20日	オンライン
大分	9月23日	大分市
全国オンライン	10月10日	オンライン
サミット	11月3日	情報セキュリティ大学院大学東京オフィス
最終報告会	12月15日	

3. 高校生 ICT Conference 2022in 大阪 開催概要

<p>概要</p>	<p>高校生、教員、企業関係者など 31名の参加者を得て、“デジタル社会における学び方と学びの場 オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【熟議】 司会進行・主旨説明 実行委員長 米田謙三 様 高校生 ICT Conference の概要及び本日の大まかな流れを説明していただきました。今年もオンライン開催ということになったのでオンラインならではのポイントや主旨なども説明してもらいました。 (サポート 大学生 矢野 莉央 様)</p> <p>開会の挨拶 総務省 近畿総合通信局 電気通信事業課 課長 川合 徹 様 新型コロナ感染症で、ネットが担う役割は拡大し、社会が大きく様変わった。例えば、導入が進んだオンライン学習は、プラス面も多いが、マイナス面もある。また、気軽に情報発信ができる SNS は、情報の収集も容易になるメリットがあるが、誹謗中傷やネット上の知り合いとリアルに会って危険な目に遭うというデメリット</p>
-----------	--

トもある。ネットは便利な一方で、「フィルターバブル」「エコーチェンバー」も生じる。本来、スマホやネットは、生活を便利にし、世の中の課題解決に役だつものです。本日の議論を通じて、課題を解決するためのヒントを提言して欲しい。

第一部 事業者による講演

株式会社サイバーフェリックス 石山 将 様

下記3つのポイントを中心にお話いただきました。

- ・小中学生は、学校でのデジタルを用いた学びが進んでいる
- ・小中学生は、デジタル世界を自由に走行できる運転免許証が必要
- ・デジタル世界の運転免許証をとるには何が必修項目か

デジタルの世界では 次のことができる

- ・自分のしたいことを実現できる
- ・遠く離れた人を助けることができる
- ・自分が賛同(さんどう)する活動を支援できる

一方で気をつけなければならないこと

コンピューターへの不正アクセス

国営メディア乗っ取り

フェイクニュース

個人情報流出 など

「たった一回の悪ふざけでもデジタル世界では一生消えない」

また最後に これから身に着けてほしい力として

- ① スクリーンタイムの扱い
- ② ネットいじめの扱い
- ③ サイバーセキュリティの扱い
- ④ デジタル共感力
- ⑤ デジタルフットプリント
- ⑥ プライバシーの扱い
- ⑦ デジタル市民のアイデンティティ
- ⑧ クリティカルシンキング

最後に GIGA スクール時代に情報モラル教育に取り組む小学校の課題例を紹介いただきました。

- ① どういった取り組みをしていいかわからない
- ② 独自に取り組んでいるが負荷が高い
- ③ ネットトラブル発生を防ぎたい
- ④ 端末持ち帰りで保護者の不安をなかなか払拭できない

ファシリテーター・参加校紹介 および グループ分け

4つのグループのブレイクアウトルームにわかれてから、それぞれのグループのファシリテーターを務める大学生から本日の目標、アイスブレイク、自己紹介などを実施しました。

第二部：熟議

デジタル社会における学び方と学びの場

ーオンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

最初に「学業の視点から」次に「コミュニケーション能力の視点から」を中心にGoogle スライドを活用し、意見を整理分類しまとめて行きました。テーマに絞った班や少し大きなテーマで取り組んだ班などがありました。熟議の中で分からない事は、企業の方や先生方に随時サポーターとして確認しました。ファシリテーターの大学生は、事前にオンラインでフォームやまとめ方を打ち合わせし、滞りなくまとめることができました。(研修を今年も4回ほどファシリテーターのみで実施)

今回の大阪の熟議で大切にしたいポイント

- 1, 学校とは何か
- 2, オンラインのメリットとデメリット
- 3, 理想のオンライン
- 4, 高校生が期待するコミュニケーションの未来
(詳細は別紙「熟議録」をご参照ください)

第三部：グループ発表

各グループともプレゼンテーションソフトを活用して3分程度の発表を行いました。(詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください)

参考：各班のポイント

【1班】 VR活用と教育

- 1, VR を活用する上でのイメージ
- 2, VR を活用する上でのメリット
- 3, VR を活用する上でのデメリット
- 4, デメリットの解決案
- 5, ICT 活用が苦手な子が VR を活用するために

- 提言
- ・オンラインでより楽しく、わかりやすい自由な教育
 - ・誰もが受けれる自由な環境を広く提供する場を

【2班】 実技科目のオンライン活用法

- ・実技ができないことにより、十分な学びを得ることができない
- ・授業を聞いて問題を解くだけでなく PC やパッドのアプリを使って

実験をし、学びの質をより良いものにする。

- ・実技教科の授業もアプリを使用して、実際にモノを触らずに演奏する、また、デジタル画などを書くなどデジタルを活用する。

- 提言
- ・オンラインでの演奏会、発表会を実施する
 - 他者との共有の場を設ける（学習が深まる）
遠くにいる人にも共有することができる

【3班】メタバースを活用した新たな学習空間

今の社会

- ・コロナ禍によるオンライン教育の普及
- ・5G 技術による情報処理技術の発展
- ・不登校生徒の増加
- ・Society 5.0
- ・グローバル化

- 提言
- ・教員へのリテラシー教育をさらに行う
 - ・まずは不登校関連の NPO や NGO への支援や提案
 - ・ネットの設備を同時に提供

【4班】 インターネット免許制度

小学生のための ICT 人間関係と学校の学び

- 提言
- ・インターネット免許制度を導入することで、
 - ・今ネット上で起きている誹謗中傷、詐欺などが減る
 - ・罪の意識が高まる
 - ・生活を便利にできる

(詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください)

その後、参加生徒により、11月3日に開催される東京サミットに行くグループの選定投票を行い、またそのグループで代表者の選定投票を行い 関西学院千里国際高等部が代表校に選出され、全体会で発表されました。

講評 : 大阪私学教育情報化研究会 副会長 米田謙三 様

今年もオンライン開催でしたが、大学生のファシリテーターのもいろいろな意見が出てきて大変良かった。この状況でも本当に活発に意見交換がされ、またどのグループも短い時間の中でしっかりと提言をまとめることができた。今後、オンラインで話し合い、まとめ、発表する事は増えると考えられ、有意義だったと思う。今回話し合った事を、学校に戻っても話しあってほしい。次年度以降もいろいろと協力してほしい。「オンラインをテーマにしましたがリアルも大切。教育の大切さ、高校生の世代が次の日本、世界、宇宙を担う役割を持っている」と伝え未来を創る担い手にエールを送って終わりました。

参加校：	関西学院千里国際高等部 早稲田摂陵高等学校 羽衣学園高等学校 大商学園高等学校 (順不同)
日時：	2022年9月18日(日) 12:30-17:00
場所：	オンライン
参加人数：	熟議参加生徒 17人 見学者・関係者 14人(教員・教育関係者・その他) 合計： 31人
熟議グループ：	熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略) 【グループ名：1】4名 大商学園高等学校2年男子、早稲田摂陵高等学校3年女子、関西学院千里国際高等部3年男子、大商学園高等学校1年男子 〔ファシリテーター〕 慶應義塾大学 花岡 吟音 【グループ名：2】5名 関西学院千里国際高等部3年男子、関西学院千里国際高等部3年女子、早稲田摂陵高等学校1年女子、早稲田摂陵高等学校2年女子、大商学園高等学校2年男子 〔ファシリテーター〕 国際基督教大学 岡 咲良 【グループ名：3】4名 大商学園高等学校1年男子、関西学院千里国際高等部3年男子、関西学院千里国際高等部3年女子、羽衣学園2年男子 〔ファシリテーター〕 関西学院大学 杉本 花 【グループ名：4】4名 大商学園高等学校2年男子、関西学院千里国際高等部3年男子、関西学院千里国際高等部3年男子、早稲田摂陵高等学校3年男子 〔ファシリテーター〕 関西学院大学 橋田 喜乃 帝塚山大学 佐々木 崇光

4. 主担当

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会	事務局
大阪私学教育情報化研究会	会場、什器備品手配、庶務
各団体、事業者等	講演、ノベルティ、資料提供 他

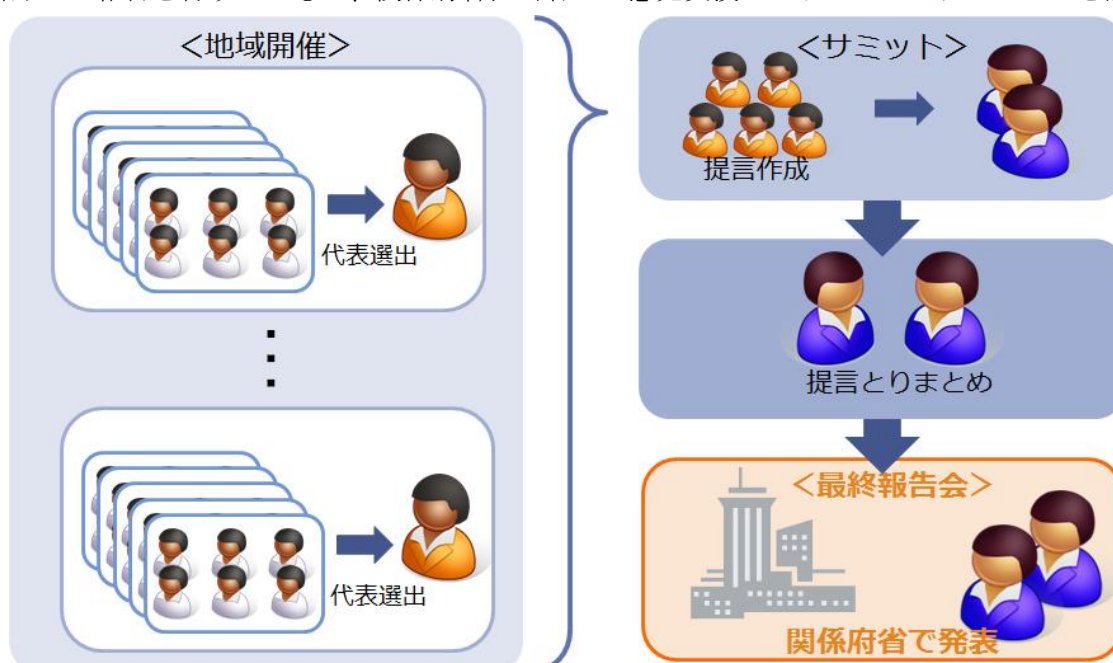
5. 高校生 ICT Conference 2022 サミット

高校生 ICT Conference 2022 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2022 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏る。



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2022 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2022 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以 上